

学校教育目標	1 自己の個性を伸ばし、意欲的に学び続ける人間の育成	2 自主自立の精神を持ち、社会の発展に寄与する人間の育成	3 心身ともに健康で、心豊かなたくましい人間の育成
ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	<p><b>定時制</b></p> <p>【育成を目指す資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉</p> <p>(1) 多様な生徒の多様な学習ニーズに対応しながら、社会的・職業的自立への意志を持って地域の未来をひらく「人財」を育てます。</p> <p>(2) 学習活動・特別活動を通して、「霞城8C（エイト・シー）」を身に付け、社会的に自立できる力を育成します。「霞城8C」とは、自己肯定力、傾聴力、読解力、思考力、表現力、行動力、自己管理能力、自立力の8つの資質・能力です。</p> <p>【教育課程の編成及び実施に関する方針】〈このような教育活動を行います〉</p> <p>(1) 「午前（Ⅰ部）、午後（Ⅱ部）、夜間（Ⅲ部）」の時間帯から自分に合った学びのスタイルを選択できるようにするとともに、所属以外の部での単位修得により3年でも卒業可能なカリキュラムを提供します。</p> <p>(2) 自分の興味・関心や進路希望に応じて選べるように、専門教科の商業科・家庭科の科目なども含めた多様な選択科目を設定します。</p> <p>(3) 「霞城8C」を身に付けるため、入学式や卒業式などの学校行事や、クラスマッチ、霞城祭（文化祭）などの生徒会活動、ホームルーム活動などの特別活動を実施します。</p> <p>【入学者の受け入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉</p> <p>(1) 本校定時制で学びたいという強い意志を持ち、「進路目標実現」という明確な意識を持って努力できる生徒を募集します。</p> <p>(2) 授業と特別活動において、他の人と共に集団で学び、活動できる生徒を募集します。</p> <p>(3) お互いの個性を理解し、違いを認め合い、成長し合える生徒を募集します。</p>		
	<p><b>通信制</b></p> <p>【育成を目指す資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉</p> <p>(1) 多様な生徒の多様な学習ニーズに対応しながら、社会的・職業的自立への意志を持って地域の未来をひらく「人財」を育てます。</p> <p>(2) 学習活動・特別活動を通して、「霞城8C（エイト・シー）」を身に付け、社会的に自立できる力を育成します。「霞城8C」とは、自己肯定力、傾聴力、読解力、思考力、表現力、行動力、自己管理能力、自立力の8つの資質・能力です。</p> <p>【教育課程の編成及び実施に関する方針】〈このような教育活動を行います〉</p> <p>(1) 「普通科、服飾科」から自分に合った学びのスタイルを選択できるようにするとともに、「学習報告書」を中心に自学自習で学びを進め、添削指導や面接指導を受け、試験に合格することで単位を認定します。</p> <p>(2) 自分の興味・関心や進路希望に応じて選べるように、専門教科の商業科・家庭科の科目なども含めた多様な選択科目を設定し、3年でも卒業可能なカリキュラムを提供します。</p> <p>(3) 「霞城8C」を身に付けるため、入学式や卒業式などの学校行事や、通教祭（文化祭）などの生徒会活動、ホームルーム活動などの特別活動を実施します。</p> <p>【入学者の受け入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉</p> <p>(1) 本校通信制で学びたいという強い意志を持ち、「高等学校卒業」、「進路目標実現」という明確な意識を持って努力できる生徒を募集します。</p> <p>(2) 基礎学力や時間管理の仕方を身に付け、自学自習ができる生徒を募集します。</p> <p>(3) 面接指導や特別活動に参加でき、お互いの個性を理解し、違いを認め合い、成長し合える生徒を募集します。</p>		



令和6年度 重点目標	評価項目	自己 評価	成果(○)と課題(●)	次年度への改善点	学校 関係者 評価	学校関係者の 意見等
1 個に応じた キャリア教育 の推進	① 個性を伸ばし自己を高める意識の涵養を図り、学習意欲の向上と「霞城8C」の育成を目指す ② 「キャリアパスポート」「進路ハンドブック」「進路の手引き」等の有効活用 ③ 外部人材・関係機関との連携	B	<定時制> ○霞城8Cについて生徒達に自己評価させながら、資質・能力の向上をはかってきた。 ●「キャリアパスポート」の一層の活用。	・生徒の指導について外部機関と連携をはかりつつ、一層効果的なものにする。	B	「霞城8C」について保護者アンケートでも肯定的な回答が多数、期待が強く寄せられている。外部人材を活用し、多様なロールモデルに出会わせる。
2 学習指導の 充実による学 力の育成	① 「個別最適な学び」の推進 ② 「主体的・対話的で深い学び」に関する研究・研修 ③ 総合的な探究の時間等の充実を進め、「協働的な学び」を推進する	B	<定時制> ○教職員、生徒とも一人一台端末の利活用が定着してきた。「総合的な探究の時間」では、調べる力、プレゼンテーションする力、対話力を伸ばすことができた。 ●授業は基礎的内容を丁寧に伝達しているものの、一人一人の進度を踏まえた学習指導については、現状不十分である。	・基本的な学習習慣の定着や基礎的内容の修得のためにも、個に応じた学びの形を提供できるよう一層研究をすすめる。	B	基礎学力や学習習慣の差、言語の壁などに対応する基礎力向上や個別対応の体制構築重要になる。進学、就職とともに、その希望を実現すべく、対応可能な範囲での工夫が大切である。
3 生徒指導の 充実による生 徒の社会力の 向上	① 教師と生徒、生徒同士のふれあいを大切にし、ライフスキル・ソーシャルスキルの向上と自己肯定感・自己有用感を高める ② 自主・自律の生活態度と公共心の育成 ③ いじめ防止	B	<定時制> ○授業や行事など学校生活の様々な場面で自己肯定感や自己有用感を高めることができた。 ●周囲の人とのかかわり方を意識させつつ、公共心の更なる育成をめざす。	・霞城8Cを意識させる機会を授業や行事の中で増やし、他を思いやり共存しようとする姿勢を養う。	B	社会性や公共心を育むことは、学力の向上と同様に重要なことである。生徒とのコミュニケーションを取り、家では話さない子も先生方には逆に何でも話せる様になることが大切だと感じる。

			定感や自己有用感の向上。			
4 心身の健康 増進と安心・安 全教育の充実	① 自己管理意識の向上 ② 本校立地に応じた訓練・研修 ③ 危機管理マニュアルの点検	B	<定時制> ○訓練を昨年度より多くし充実させたことで、生徒の防災意識は高まった。 ●生徒に対し自己管理意識を醸成する機会が少なかった。	・本校立地条件を意識した防災訓練のあり方をさらに研究し、充実をはかる。	B	災害時の判断力や防災意識の向上が必要である。また不審者対策の訓練を通して意識向上を図る。闇バイトや特殊詐欺等の犯罪は巧妙かつ触れる機会も高まっている。「SOSの出し方・受け止め方講座」等の開催が必要である。
			<通信制> ○不審者対策研修会および防災訓練を計画通り実施したことによる防犯・防災意識の向上。 ●生徒の自己管理力の育成および学校生活の充実。	・危機管理マニュアルと各チャート(防災体制・不審者緊急対応)の見直し・確認および必要に応じて更新。		
5 特別支援教育の推進	① 教育活動のユニバーサルデザイン等の推進 ② 合理的配慮・支援の理解と実践 ③ 個別の支援計画の作成と実践	A	<定時制> ○個々の生徒の状況に即した支援や合理的配慮について、適切に行われている。 ●個々の支援計画について、担任のみならず教科担当者も研究・共有し、より適切な対応をめざす。	・研究授業等の場面を生かしながら、ユニバーサルデザインについて一層研究・推進する。	B	例年、通級クラスや外国籍等生徒対応など、個々の生徒の学習支援に力を入れていることについて引き続き研究を重ねられ、サポート体制の強化に期待する。
			<通信制> ○個々の生徒の状況に応じた支援体制(1次・2次・3次支援)の実施と教職員間の情報共有。 ●個別の支援計画の効果的な実施と組織として持続可能な体制作り。	・ユニバーサルデザインについての理解と活用の充実。 ・学校、家庭、SCおよびSSW等、関係機関との効果的な連携。		
6 魅力・活力あふれ開かれた学校づくり	① 魅力ある生涯学習講座の検討 ② ガイダンス機能を果たす情報発信 ③ 外部諸機関との連携	B	<定時制> ○生涯学習講座は、参加者からは好評である。情報発信についても、ホームページの他Ⅲ部がInstagramを活用するなど、総じて積極的にできた。 ●外部講師より学んだ内容を様々な場面でもっと積極的に活用する。	・ホームルーム活動や「総合的な探究の時間」においていただく外部講師が話す内容を、通常の学校活動の中でどう生かすか研究する。	B	生涯学習講座のニーズを踏まえて、是非継続してほしい。 情報の発信やイベント等の接点から、学校への理解を広げる情報発信。霞城セントラルのアトリウム等を活用する。地域とのつながりを持てる活動ができればよい。
			<通信制> ○生涯学習講座は、前期と後期ともに2講座を予定通り開講。 ●生涯学習講座の参加者減少に伴い、魅力ある講座のあり方の検討。	・外部に向けて、効果的な情報発信と必要に応じて外部専門機関との情報共有と連携。		

